

“これより舞台『千夜ヲ越エテ』が開演します”

26歳で劇団員の信光は、一夜にして夢と恋を失ってしまう。

バイトだけになった信光の前に、ある日人気作家のジャズが現れ、自身のデビュー作『千夜ヲ越エテ』の舞台化を持ちかける。それを承諾した信光は、集められた新たな劇団員の一人、
アメリカ沙妃に一目惚れする。

ヒロイン役に抜擢された沙妃の相手になるため、必死に闘い、
主役を勝ち取った信光。稽古を繰り返すうち、まるで物語の中に己自身が芽吹いているかのようなアイデンティファイを役に感じていた。

自分のように恋をし、そのために闘い続ける主人公の清之助。演じるほどに確かな自身を身につけた信光は、次第に態度も横柄になっていく。見かねた元劇団員の進言もあり、ジャズは信光を主役の座から降ろしてしまう。

再び奈落に突き落とされた信光は、些細な成功で付け上がった自分の不甲斐無さを振り返り、仲間を支えられ、志新たに『千夜ヲ越エテ』に参加することを決心する。